

3-3 東洋史

研究・教育活動の概要と特色

本専攻分野の特色は、第一に中国語学中国文学や中国思想中国哲学という他専攻分野との連携を重視すること、第二に教員各三名がすべて中国史研究者であること、第三に学生・院生に対する指導において特に中国古典文（漢文）の読解を重視すること、以上の三点に要約される。

第一の点は、本専攻分野の初代教授岡崎文夫以来の伝統を継承したものである。岡崎および青木正児（文学）・武内義雄（思想）は、中国の人と文化の理解に至るために、歴史、思想、文学といった単一の分野からの接近だけではおのずから限界があると認識していた。その立場は三者の師である内藤湖南のそれを継承したものにはかならないが、今日にいたっていよいよその斬新さが際立つ。現在も本専攻分野では両専攻分野との研究活動等における交流が中国史の考察へ裨益するものとみなし、かかる伝統の維持につとめている。その象徴である三専攻分野共同編集の雑誌『集刊東洋学』（年二回刊行）は、すでに 109 号を数えている。

第二の点は、すでに挙げた多角的な中国研究を課題とする伝統と密接に関連するものであり、また一方では最大三名しか許容されない教員スタッフによって学界における特色ある地位を確保するため、限られた人員を中国史分野に集中することを必した現実的判断の結果でもある。現在では教授熊本（宋元史）および川合（魏晉南北朝隋唐史）、また准教授大野（明清史）によって、前近代中国史のほぼ全体をカバーしている。

第三の点は、具体的には古典文読解の演習を重視することでその実現を目指している。ただし、その演習は卒業論文や修士論文の執筆のための訓練の場とも位置づけており、複数報告者が訳注稿を提示し、またその訳注稿を基礎とした参加者相互の議論を行うなど様々な方法を試みることで、史料読解力はもとより表現力ひいては論証能力の涵養を企図している。なお、演習自体は中国古典文解読を中心とするが、学部生や大学院生それぞれの研究課題設定はその自主的判断に委ねている。本専攻分野出身者のなかには、中国本部（China Proper）と呼称される地域の各時代はもとより、渤海を中心とした環日本海史あるいは清代モンゴル史研究を選択して成果をあげ、それぞれ大学に職を得ている者も存在する。

I 組織

1 教員（2013年7月末現在）

教授：2

准教授：1

助教：1

教授：熊本崇、川合安

准教授：大野晃嗣

助教：水盛涼一

2 在学生数（2013年7月末現在）

学部 (2年次以上)	学部 研究生	大学院博士 前期	大学院博 士 後期	大学院 研究生
14	3	5	2	0

3 修了生・卒業生数（2009～2013年度）

年度	学部卒業生	大学院博士課程 前期修了者	大学院博士課程 後期修了者 (含満期退学者)
09	4	0	1
10	1	1	0
11	1	1	1
12	2	0	3
13	0	0	0
計	8	2	5

* 2013年度は、9月末までの数字

II 過去5年間の組織としての研究・教育活動（2009～2013年度）

1 博士学位授与

1-1 課程博士・論文博士授与件数

年度	課程博士授与件 数	論文博士授与件 数	計
09	1	0	1

10	0	0	0
11	1	0	1
12	3	0	3
13	0	0	0
計	5	0	5

* 2013年度は、9月末までの数字

1-2 博士論文提出者氏名、年度、題目、審査委員

清水浩一郎，2009年度，『南宋高宗朝三省制の研究』

審査委員：教授・熊本崇（主査），教授・川合安，教授・三浦秀一，准教授・大野晃嗣

小尾孝夫，2011年度，『南朝宋齊政権の権力構造とその基盤』

審査委員：教授・川合安（主査），教授・熊本崇，教授・佐竹保子，准教授・大野晃嗣

三田辰彦，2012年度，『東晋皇帝制度研究』

審査委員：教授・川合安（主査），教授・熊本崇，教授・佐竹保子，准教授・大野晃嗣

水盛涼一，2012年度，『中国近代地方行財政制度研究』

審査委員：教授・熊本崇（主査），教授・川合安，教授・三浦秀一，准教授・大野晃嗣

高橋亨，2012年度，『中国明代政治システムの研究

——内閣制度の形成過程とその歴史的背景』

審査委員：教授・熊本崇（主査），教授・川合安，教授・三浦秀一，教授・新宮学（山形大学より），准教授・大野晃嗣

2 大学院生等による論文発表

2-1 論文数

年度	審査制学術誌 （学会誌等）	非審査制誌 （紀要等）	論文集 （単行本）	その他	計
09	1	0	1	0	2
10	1	2	2	1	6
11	1	3	3	2	9
12	1	0	2	0	3
13	3	0	0	11	14
計	7	5	8	14	34

* 2013年度は9月末までの数字。ただし、以後の掲載が決定しているものも含む。

2-2 口頭発表数

年度	国際学会	国内学会	研究会	その他	計
09	1	5	1	0	7
10	1	3	2	0	6
11	2	4	2	0	8
12	1	3	1	0	5
13	2	0	1	0	3
計	7	15	7	0	29

* 2012年度は9月末までの数字。ただし、以後の発表が決定しているものも含む。

2-3 上記の大学院生等による論文・口頭発表の中の主要業績

(1) 論文

工藤寿晴「遼許従賀墓誌銘考釈——燕雲地域獲得直後における雲州の様相を考察する手掛りとして」, 白山史学会『白山史学』第45号, 2009年4月

佐々木仁志「「義帝約」考」中国文史哲研究会『集刊東洋学』第109号, 2013年7月

周曉萌「翻訳・劉前鳳・王茜「春秋戦国時代における巴蜀地域の冶鉄業について」, 『アジア文化史研究』第13号, 2013年3月

周曉萌「(趙力傑と共訳)「翻訳・蔣剛「資料からみた先秦期三峡地域の東西文化交流について」, 『東北学院大学論集——歴史と文化』第50号, 2013年3月

高橋亨「明代永樂期内閣官の性格について」, 東北史学会『歴史』第116輯, 2011年4月

高橋亨「明代内閣職掌形成過程の研究——經筵制度の成立を分析の焦点として」, 史学研究会『史林』第95巻第3号, 2012年5月

趙力傑「翻訳・雷翔「清江上流の土家族における「還壇神」祭祀について」, 『アジア文化史研究』第13号, 2013年3月

趙力傑「翻訳・王曉寧「恩施地域における碑刻資料の保存と研究について」, 『アジア文化史研究』第13号, 2013年3月

趙力傑「翻訳・常雲平・張周「近代中国における留日学生の主要な学習対象——鄒容とその著書『革命軍』を例として」, 『東北学院大学論集——歴史と文化』第49号, 2013年3月

- 趙力傑（周曉萌と共訳）「翻訳・蔣剛「資料からみた先秦期三峡地域の東西文化交流について」、『東北学院大学論集——歴史と文化』第50号，2013年3月
- 中本圭亮「後漢順帝期の人事制度改革について」中国文史哲研究会『集刊東洋学』第108号，2013年1月
- 中本圭亮「汝南袁氏に関する二・三の問題」三國志学会『三國志研究』第8号，2013年9月
- 水盛涼一「翻訳・汪士鐸『乙丙日記』，李圭『思痛記』，毓賢「山東の教案処理に関する上奏」，惲毓鼎『崇陵伝信録』」，（編集委員：野村浩一・近藤邦康・並木頼寿・坂元ひろ子・砂山幸雄・村田雄二郎）『新編 原典中国近代思想史』岩波書店，第一巻『開国と社会変容——清朝体制・太平天国・反キリスト教』第三節「太平天国——民衆反乱の連鎖と体制再編」・第四節「仇教運動から義和団の活動へ」，2010年2月
- 水盛涼一「解題・劉麗川「上海小刀会の首領劉の告示」，張洛行「張洛行告示（付軍律）」，宋景詩「山東の黒旗軍の告示二通」」，（編集委員：野村浩一・近藤邦康・並木頼寿・坂元ひろ子・砂山幸雄・村田雄二郎）『新編 原典中国近代思想史』岩波書店，第一巻『開国と社会変容——清朝体制・太平天国・反キリスト教』第三節「太平天国——民衆反乱の連鎖と体制再編」，2010年2月
- 水盛涼一「中国近代史関係文書の研究——『思痛記』に見る清朝批判と出版統制」，東北大学大学院文学研究科大学院 GP 事務室編『大学院教育改革支援プログラム 歴史資源アーカイブ国際高度学芸員養成計画 平成20年度 事業成果報告書』，2010年3月
- 水盛涼一「上海図書館蔵中国清末地方官僚制度有関文献解題稿」，東北大学大学院文学研究科大学院 GP 事務室編『大学院教育改革支援プログラム 歴史資源アーカイブ国際高度学芸員養成計画 平成20年度 事業成果報告書』，2010年3月
- 水盛涼一「新刊紹介・大阪経済大学日本経済史研究所編『東アジア経済史研究 第一集 ～中国・韓国・日本・琉球の交流～』」，東北史学会『歴史』第115輯，2010年9月
- 水盛涼一「近代中国における出版自主規制について——清末と現代にみる言葉遊びの真実」，東北大学大学院文学研究科大学院 GP 事務室編『組織的な大学院教育改革支援プログラム 歴史資源アーカイブ国際高度学芸員養成計画 平成二

- 一年度 院生プロジェクト成果報告書』，2011年2月
- 水盛涼一「清末出版統制序説——禁書指定・自主規制・地下出版のはざままで」，東北大学大学院文学研究科大学院 GP 事務室編『組織的な大学院教育改革支援プログラム 歴史資源アーカイブ国際高度学芸員養成計画 平成二一年度 事業成果報告書』第一分冊，2011年3月
- 水盛涼一「厦門大学教育研究院における研修について」，東北大学大学院文学研究科大学院 GP 事務室編『組織的な大学院教育改革支援プログラム 歴史資源アーカイブ国際高度学芸員養成計画 平成二一年度 事業成果報告書』第一分冊，2011年3月
- 水盛涼一「清末における地方官僚社会の変容——浙江省各種『同官録』成立を中心として」，東北大学大学院文学研究科大学院 GP 事務室編『組織的な大学院教育改革支援プログラム 歴史資源アーカイブ国際高度学芸員養成計画 平成二〇～二二年度 歴史資源アーカイブ成果報告書』，2011年4月
- 水盛涼一「中国地方官僚人名録解題稿——『同官録』の世界」，東北大学大学院文学研究科大学院 GP 事務室編『組織的な大学院教育改革支援プログラム 歴史資源アーカイブ国際高度学芸員養成計画 平成二二年度 事業成果報告書』，2011年5月
- 水盛涼一「清末官員考試制度小論——以浙江『甄別仕途新章』為中心」，天一閣博物館編『科舉與科舉文獻國際學術研討會會議論文集』上冊，上海書店出版社，2011年7月
- 水盛涼一「太平天国江南蘇福兩省地域考略——以清末江蘇甯屬蘇屬的分化為中心」，南京大學・中國太平天國史研究會・江蘇省太平天國史學會・太平天國歷史博物館『紀念太平天國起義一六〇周年學術研討會論文集』太平天國歷史博物館，2011年8月
- 水盛涼一「科舉正途官員與雜途官員——通過同鄉會館的建立看清末官僚社會的變革」，武漢大學『第八屆科舉制與科舉學國際學術研討會 科舉文獻整理與研究論文集』下冊，2011年9月
- 水盛涼一「太平天国江南蘇福兩省地域考略——以清末江蘇甯屬蘇屬的分化為中心」，王繼平主編『曾國藩研究』第六輯、湘潭大学出版社，2012年4月
- 水盛涼一「清朝の歴史意識——以遼王朝為中心」，中國社會科學院歷史研究所・香港理工大學中國文化學系・北京師範大學古籍與傳統文化研究院『中國社會科學論壇——第三屆中國古文獻與傳統文化國際學術研討會論文集』中國社會科學院

歴史研究所, 2012年10月

水盛涼一「清人のみた遼王朝」, 荒川慎太郎・澤本光弘・高井康典行・渡辺健哉編『契丹〔遼〕はどう語られてきたのか——契丹史と一〇～一二世紀の東部ユーラシア』, 勉誠出版株式会社, 2013年1月

水盛涼一「翻訳・丁建華「重慶師範大学博物館の運営に関する初歩的考察」」, 東北学院大学大学院文学研究科アジア文化史専攻編『アジア文化史研究』第13号, 2013年3月

水盛涼一「翻訳・管維良「重慶の歴史と文化」」, 東北学院大学大学学術研究会編『東北学院大学論集 歴史と文化』第50号, 2013年3月

水盛涼一「翻訳・陳千万「襄陽市菜越の大型三国墓の発掘と研究」」, 東北学院大学アジア流域文化研究所編『アジア流域文化研究』第9号, 2013年3月

水盛涼一「翻訳・楊華「長江三峡地域における太古の時代の埋葬習俗文化の考古学的研究」」, 東北学院大学アジア流域文化研究所編『アジア流域文化研究』第9号, 2013年3月

三田辰彦「六朝諸王皇位継承初探——以皇位継承的特殊類型分析為中心」, 『第三届中国中古史青年学者聯誼会報告匯編』, 2009年8月

三田辰彦「東晋の哀帝と皇統継承問題」, 東北史学会『歴史』第114輯, 2010年4月)

(2) 口頭発表

工藤寿晴「「大契丹」から「大遼」へ——「大遼」建号時期とその意味をめぐって」, 東北史学会, 東北大学, 2009年10月3日

佐々木仁志「わが国における前漢初期諸侯王国の研究」, 東北史学会, 東北大学, 2011年10月2日

佐々木仁志「義帝約考」, 東北史学会, 岩手大学, 2012年10月7日

高橋亨「明代吉安府における家塾教育と当地士人間の交流について」, 東北史学会, 山形大学, 2010年10月3日

高橋亨「明代進講制度の形成について」, 東北史学会, 東北大学, 2011年10月2日

中本圭亮「後漢順帝期の人事制度改革について」, 東北史学会, 岩手大学, 2012年10月7日

- 中本圭亮「後漢桓・靈・獻帝期の政治問題」，東北中国学会，岩手大学，2013年5月26日
- 中本圭亮「後漢史における順帝期の位置」，史学会，東京大学，2013年11月10日
- 水盛涼一「戦災復興と秩序形成—近代中国江南の移民流入と社会変容」，アジア社会研究会第三回シンポジウム，東北大学，2009年1月31日
- 水盛涼一「光緒初葉浙江の行財政再建過程—釐金制度改革の継承と展開を中心に」，第58回東北中国学会，東北大学，2009年5月31日
- 水盛涼一「浙江省嘉興府釐金制度改革始末—光緒末年の行財政改革の様相」，東北史学会，東北大学，2009年10月3日
- 水盛涼一「光緒年間初葉の税制改革—浙江省の釐金制度改革を中心に」，第107回史学会大会，東京大学，2009年11月8日
- 水盛涼一「清末漢土における八旗官僚の動向」，共同研究「北アジアにおける帝国統治の遺産に関する研究」平成22年度第1回研究会，東北大学，2010年7月3日
- 水盛涼一「清朝末期の漢地における八旗官僚の趨向」，第5回清朝時代史懇話会，早稲田大学，2010年度9月29日
- 水盛涼一「清末官員考試制度小論—以浙江『甄別仕途新章』為中心」，科舉與科舉文獻國際學術研討會，寧波天一閣博物館，2010年12月20日
- 水盛涼一「科舉正途官僚と雜途官僚—『同官録』より見た清末官僚社会の変容」，応用科舉史学研究会第四回ワークショップ，東北大学，2011年8月4日
- 水盛涼一「太平天国江南蘇福兩省地域考略—以清末江蘇甯屬蘇屬的分化為中心」，紀念太平天國起義一六〇周年學術研討會，南京大學，2011年8月12日
- 水盛涼一「太平天国における戯曲政策散論」，第九回特別推進研究「清朝宮廷演劇文化の研究」研究会，東北大学，2011年9月13日
- 水盛涼一「科舉正途官員與雜途官員—通過同鄉會館的建立看清末官僚社会的變革」，第八屆科舉制與科舉學國際學術研討會，武漢大學，2011年9月25日
- 水盛涼一「常税と釐捐のあいだ—清末安徽省における蕪湖関・鳳陽関の

処遇変遷をめぐって」，東北史学会，東北大学，2011年10月2日

水盛涼「清朝的歴史意識——以遼王朝爲中心」，中國社會科學論壇——第三屆中國古文獻與傳統文化國際學術研討會，中國社會科學院歷史研究所・香港理工大學中國文化學系・北京師範大學古籍與傳統文化研究院，2012年10月19日

水盛涼「近代中国における分節構造の形成と展開——清朝における地方官僚組織の変容を中心に」，第四十回東洋史学研究会，福岡大学，2012年11月18日

水盛涼「清朝後期の支配層——満蒙王公や八旗官僚と漢族科挙官僚との關係を中心に」，応用科挙史学研究会第十二回研究集会，福岡教育大学，2013年1月12日

三田辰彦「六朝諸王皇位繼承初探——以皇位繼承的特殊類型分析爲中心」，第三届中国中古史青年学者聯誼会，武漢大学／中国武漢市，2009年8月29日

三田辰彦「東晋劉宋期の皇太妃と皇太后」，第59回東北中国学会，弘前大学，2010年5月30日

三田辰彦「東晋の「皇太妃」号議論とその展開」，第14回六朝學術学会，斯文会館講堂，2010年6月13日

三田辰彦「東晋中葉の尊号問題——皇太妃号の議論を中心に」，第109回史学会大会，東京大学，2011年11月6日

三田辰彦「東晋皇帝制度研究序説——皇位繼承を中心に」，第一回若手中国史論壇，東方学会，2012年3月4日

武藤遥「乾隆期における雲南銅の生産について」，東北史学会，東北大学，2009年10月3日

3 大学院・学部生等の受賞状況

なし

4 日本學術振興会研究員採択状況

なし

5 留学・留学生受け入れ

5-1 大学院生・学部生等の留学生

2009年度 大学院 計1名 南開大学歴史系（中華人民共和国）

2011年度 学部生 計1名 The University of Alabama（United States of America）

5-2 留学生の受け入れ状況（学部・大学院）

年度	学部	大学院	計
09	2	0	2
10	1	0	1
11	2	0	2
12	2	2	4
13	3	2	5
計	10	4	14

6 社会人大学院生の受け入れ数

年度	前期課程	後期課程	計
09	0	0	0
10	0	1	1
11	0	0	0
12	0	0	0
13	0	0	0
計	0	1	1

7 専攻分野出身の研究者・高度職業人（2001～2012年度）

7-1 専攻分野出身の研究者

中村篤志，山形大学，2004年

渡邊英幸，愛知教育大学，2011年

小尾孝夫，大手前大学，2012年

7-2 専攻分野出身の高度職業人

中高教員5名，ジャーナリスト4名，出版社社員1名

8 客員研究員の受け入れ状況

石井仁，駒澤大学文学部歴史学科准教授

9 外国人研究者の受け入れ状況

なし

10 刊行物

2009～2013年 『集刊東洋学』（専門分野の機関誌）＊，年2回発刊

2009～2013年 『東北大学東洋史論集』（専門分野の機関誌）隔年刊行（但し，2009年より休刊中）

＊中国語学中国文学・中国思想中国哲学の両専攻分野との共同編集

11 学会・研究会・講演会・シンポジウム等の開催・事務局等引き受け状況

2009年8月7～9日 明清史夏合宿 事務局

2012年5月26～27日 第六十一回東北中国学会大会準備委員会

12 専攻分野主催の研究会等活動状況

なし

13 組織としての研究・教育活動に関する過去5年間の自己点検と評価

過去五年間で、本専攻分野に在籍し博士学位を取得したものは五名であった。しかし彼らは後期課程の三年間で学位を取得したわけではない。うち一名は後期課程進学後五年目で、また三名は後期課程退学後一年目に学位を取得し、また一名はさらにそれ以降に取得した者である。そもそも本研究科全体を通してみても進学後三年以内での学位取得者は少ない。とはいえ最低でも留学期間を控除するとしても後期課程在籍を許される年限となる六年以内での学位取得件数を増加させなければなるまい。

総体に後期課程学生の業績不足の遠因は、学生が短期的な論文作成に注力するあまり、大局的で継続可能なテーマの探求をおろそかにしている点に求められるように思う。論文の濫造傾向は昨今の業界の宿痾ともいえるが、これではたとえ当面の論文は完成できても、その作業が次のそれに連続しえず、主題もより一層の展開を達成しえない。相互に密接に関連する諸論文を作成してこそ、それが博士学位請求論文に結びつくものであろう。ここには研究室内部で学生たちが相互に刺戟し切磋しあう場が適正に機能しえていないことも遠因のひとつと考えられる。この点を考慮しつつ、以後指導に努めたい（いうまでもなく後期課程学生主導の研究会等の活性化は、前期課程ひいては学部生をも裨益する）。

この五年間における本専攻分野からの海外留学は二件にすぎない。近十年とすれば六件となるが、これはそれ以前に比べれば確実に増加しているものの、決して十分な数ではありえない。本学は旧制第二高等学校および帝国大学文学部の開設以来、膨大な中国文献を蓄積してきたため、留学により各学生の研究環境が劇的に好転することはなかろう。とはいえ、語学力の大幅な向上や当該国文化への直接接触、およびなによりも“人治の国”中国での中国人研究者との人脈形成は、長期的な研究活動を大いに利することは確実であろう。今後、特に学術論文二本を執筆して博士学位請求論文の執筆資格を獲得した者には、積極的に留学を勧めていく。

Ⅲ 教員の研究活動（2009～2013年度）

1 教員による論文発表等

1-1 論文

熊本崇「宋紹興対策二種——周必大的省試対策与王十朋的殿試対策」、『国際科挙研討会—第五屆“科挙制与科挙学”研討会—報告論文集』，pp272-289，2009年8月

熊本崇「宋元祐の吏額房——三省制の一検討」、『東洋史研究』第69巻第1号，pp29-59，2010年7月

熊本崇「宋神宗立太子前後——哲宗定策問題序説」、『集刊東洋学』第107号，pp68-92，2012年6月

川合安「日本の六朝貴族制研究」、『魏晋南北朝史研究——回顧與探索』（湖北教育出版社），pp111-113，2009年8月

川合安「九品官人法の制定と貴族制の形成」、『三國志研究』第4号，pp73-82，2009年9月

川合安「南朝史からみた隋唐帝国の形成」、『唐代史研究』第15号，pp3-21，2012年8月

大野晃嗣「從“明代進士登科録”的編纂看“明清考試文化”中的“官年”現象」、『国際科挙研討会——第五屆“科挙制与科挙学”研討会——報告論文集』，pp393-401，2009年8月

大野晃嗣「景泰天順兩朝的政權運營與科舉——從景帝即位至英宗復辟」，天一閣博物館編『科舉與科舉文獻國際學術研討會會議論文集』下冊，上海書店出版社，pp118-131，2011年7月

大野晃嗣「明代會試考官初探——以《會試録》爲中心」、『第八屆科挙制與科挙國

際學術研討會論文集』， pp34-47, 2011年9月

大野晃嗣「科挙研究の現状と「科挙学」」, 『「共生」の空間——異文化の接触・交渉・共存をめぐる総合的研究』, 「「共生」の空間——異文化の接触・交渉・共存をめぐる総合的研究」研究会(京都府立大学岡本隆司主催), pp113-120, 2012年3月

大野晃嗣「明代會試考官初探——以會試録爲中心」, 陳文新・余來明編『科舉文獻整理與研究——第八屆科舉制與科舉學國際學術研討會論文集』武漢大學出版社, pp.99-111, 2013年4月

小尾孝夫「東晋時期晋陵郡域内無実土僑郡太守・僑県令与僑民關係考論——以僑民の役・征役・税租負担問題为重点の重新考察」, 『中国中古史研究(中国中古史青年学者聯誼会会刊)』創刊号, 中国中古史青年学者聯誼会, pp157-176, 2011年2月

小尾孝夫「南朝宋齐時期の国軍体制と僑州南徐州」, 『唐代史研究』第13号, 唐代史研究会, pp3-32, 2010年8月

水盛涼一「科舉正途官員與雜途官員——通過同鄉會館的建立看清末官僚社會的變革」, 陳文新・余來明編『科舉文獻整理與研究——第八屆科舉制與科舉學國際學術研討會論文集』武漢大學出版社, pp.476-477, 2013年4月

1-2 著書

大野晃嗣・齊藤智寛・陳青・渡邊健哉『東北大學附属圖書館所藏中國金石文拓本集——附：關聯資料』, 東北大學附属圖書館藏「中国金石文拓本集」寫真帳出版事業, pp.1-389, 2013年2月

1-3 翻譯、書評、解説、辞典項目等

(1) 書評

川合安「張旭華著『九品中正制略論稿』」, 『集刊東洋学』第101号, 2009年5月, 96~103頁

(2) 解説

(3) 事典項目

(4) その他

川合安・大形徹・柳川順子・佐竹保子「『隋書』音楽志訳注稿（三）」，
広島中国文学会『中国学研究論集』第22号，pp.6-48（川合担当 pp.6-12），
2009年4月

川合安「大学の自治と評議会・教授会」，『東北大学百年史 三』，pp.105-122，2010
年3月

川合安・林香奈・大形徹・柳川順子・佐竹保子・長谷部剛・佐藤大志「『隋書』音
楽志訳注稿（五）」広島中国文学会『中国学研究論集』第26号，pp.1-64
（川合担当 pp.12-18），2011年4月

川合安「唐代初期の「士族」研究——李浩著『唐代〈文学士族〉の研究』の刊行に
寄せて」，中国文史哲研究会『集刊東洋学』第105号，pp.80-92，2011年6
月

小尾孝夫「2008年の歴史学会・回顧と展望 魏晋南北朝」，史学会『史
学雑誌』第118巻第5号，pp.201-208，2009年5月

小尾孝夫「東晋南朝」，『近三年（2007～2009）日本魏晋南北朝史研究
の動向』（共著），『第四届中国中古史青年学者国際研討会会議論
文集』，pp.486-488・pp.494-495，2010年8月

1-4 口頭発表

(1) 国際学会

熊本崇「宋紹興対策二種——周必大の省試対策与王十朋の殿試対策」，第
五回「科举制与科举学」研討会，北海道大学，2009年8月27日

川合安「九品官人法の制定と貴族制の形成」，第54回国際東方学者会議
東京会議シンポジウムVI，日本教育会館，2009年5月15日

大野晃嗣「從“明代進士登科録”的編纂看“明清考試文化”中的“官年”
現象」，第五回「科举制与科举学」研討会，北海道大学，2009年8月
27日

大野晃嗣「景泰天順兩朝の政權運營與科舉——從景帝即位至英宗復
辟」，科舉與科舉文獻國際學術研討會，天一閣博物館／中国寧
波市，2010年12月20日

大野晃嗣「明代會試考官初探——以《會試録》爲中心」，第八屆科舉制與
科舉學國際學術研討會，武漢大学，2011年9月25日

水盛涼一「中國題名録文化——官僚名冊的形成與發展」，第四屆中國古文獻與傳統文化國際學術研討會，香港理工大學孔子學院／中国香港市，2013年12月13日

(2) 国内学会

熊本崇「北宋の「實録」——「神宗實録」(元祐本)の一側面」，平成二十五年東北シナ学会四月例会，東北大学，2013年4月13日

川合安「南朝の墓誌について」，第二回中国石刻合同研究会，明治大学，2009年7月25日

川合安「南朝の新興貴族」，2009年度東洋史研究会大会，京都大学，2009年11月3日

川合安「南朝史からみた隋唐帝国の形成」，2011年度唐代史研究会夏期シンポジウム，箱根強羅静雲荘，2011年8月22日

小尾孝夫「南朝前期の国軍体制と南徐州」，2009年度唐代史研究会夏期シンポジウム，箱根強羅静雲荘，2009年8月24日

小尾孝夫「東晋南朝の「軍郡」——義熙土断と劉裕の対州鎮政策」，第60回東北中国学会大会，秋田大学，2009年5月29日

水盛涼一「清末鴉片事情考略——光緒年間におけるアヘン嗜好とその取り締まりの実態をめぐって」，第62回東北中国学会，岩手大学，2013年5月26日

水盛涼一「同郷会館の設立より見た清朝官僚社会の変容」，広島史学研究会二〇一三年度大会，広島大学，2013年10月27日

(3) 研究会

熊本崇「宋紹興対策二種——周必大の省試対策と王十朋の殿試対策」，応用科挙史学研究会第三回ワークショップ，東北大学，2009年7月11日

大野晃嗣「明代進士登科録編纂に関する一考察」，応用科挙史学研究会第三回ワークショップ，東北大学，2009年7月11日

大野晃嗣「明代中期の社会と監生——天順成化年間を中心に」，応用科挙史学研究会第七回研究集会，東北大学，2010年9月24日

大野晃嗣「明代会試の試験官に関する基礎的研究——会試録を中心として」，

応用科挙史学研究会第五回ワークショップ，東北大学，2011年8月4日

大野晃嗣「科挙研究の現状と「科挙学」」，京都府立大学重点戦略研究「共生」の空間」研究会，京都府立大学，2012年1月6日

水盛涼一「清末旗人官僚社会初探」，科学研究費「漢人商業地区「買売城」から見る清代モンゴルの経済構造」第一回研究集会，東北大学，2013年5月14日

2 教員の受賞歴 (2009～2013 年度)

なし

IV 教員による競争的資金獲得 (2009～2013 年度)

(1) 科学研究費補助金

- ・平成18年度～21年度 基盤研究 (B) 「思想史的社会史的史料としての科挙答案に関する基礎的研究」研究課題番号 18320014 研究代表者：三浦秀一 分担者：熊本崇 分担者：大野晃嗣
- ・平成19年度～21年度 若手研究 (B) 「中国近世における人事制度とその運用理念に関する基礎的研究——明清時代を中心として」 研究課題番号 19720178 研究代表者：大野晃嗣 平成19年度 1,000,000円 平成20年度 1,170,000円 平成21年度 1,040,000円
- ・平成22年度～24年度 若手研究 (B) 「中国明清時代の社会意識と人事制度の相関性に関する研究」研究課題番号 22720261 研究代表者：大野晃嗣 平成22年度 1,430,000円 平成23年度 1,170,000円 平成24年度 1,040,000円
- ・平成22年度～24年度 基盤研究 (B) 「科挙文献による明代中国の思想史と社会史」研究課題番号 22320011 研究代表者：三浦秀一 分担者：熊本崇 分担者：大野晃嗣 平成22年度 各500,000円 平成23年度 大野晃嗣 700,000円 平成24年度 大野晃嗣 600,000円
- ・平成22年度～27年度 基盤研究 (A) 「石刻史料と史料批判による魏晋南北朝史の基本問題の再検討」研究者番号 00184672 研究代表者：伊藤敏雄 (大阪教育大学) 分担者：川合安 平成22年度 200,000円 平成23年度 200,000円 平成24年度 100,000円 平成25年度 600,000円

- ・平成 22 年度～26 年度 基盤研究 (B) 「『世説新語』劉孝標注の漢魏六朝文献に関する総合的研究」研究課題番号 22320068 研究代表者：佐竹保子 (東北大学) 分担者：川合安 平成 22 年度 640,000 円 平成 23 年度 300,000 円 平成 24 年度 400,000 円 平成 25 年度 350,000 円
- ・平成 24 年度～25 年度 基盤研究 (B) 「隋唐楽府文学の総合的研究」研究課題番号 24320070 研究代表者：長谷部剛 (関西大学) 分担者：川合安 平成 24 年度 180,000 円 平成 25 年度 180,000 円
- ・平成 22 年度～25 年度 基盤研究 (B) 「最新の考古調査および礼制研究の成果を用いた中国古代都城史の新研究」研究課題番号 22320142 研究代表者：佐川英治 (東京大学) 分担者：小尾孝夫 平成 22 年度 300,000 円
- ・平成 25 年度～27 年度 基盤研究 (C) 「中国明清交替期における人事・科挙制度の変革とその継承に関する研究」研究課題番号 25370822 研究代表者：大野晃嗣 平成 25 年度 1,950,000 円 平成 26 年度 1,560,000 円 平成 27 年度 1,430,000 円
- ・平成 25 年度～27 年度 若手研究 (B) 「近代中国における地方官僚およびその機構に関する研究」研究課題番号 25770252 研究代表者：水盛涼一 平成 25 年度 910,000 円 平成 26 年度 650,000 円 平成 27 年度 650,000 円

(2) その他

- ・平成 21 年度 東北大学若手研究者萌芽研究育成プログラム (総長裁量経費) 「東北大学附属図書館蔵の拓本資料の基礎的研究」研究代表者：齋藤智寛 分担者：大野晃嗣 分担者：渡辺健哉 期間 2009 年 4 月～2011 年 3 月 2,000,000 円
- ・平成 22 年度 研究科長裁量経費 「東北大学附属図書館蔵常盤大定収集拓本の研究と公開」研究代表者：齋藤 智寛 分担者：大野晃嗣 渡辺健哉 300,000 円
- ・平成 24 年度 研究科長裁量経費 「第 61 回東北中国学会公開講演に対する文学研究科共催の申請」申請者：大野晃嗣 1,400,000 円

V 教員による社会貢献（2009～2013年度）

- ・熊本崇 2010年9月 第9期有備館講座「『人間』を科学する——文学部の発想」
第5回講座「北宋の首都開封——『東京夢華録』の世界」 岩出山町有備館
- ・熊本崇 2010年度 高校出前授業（12月）
- ・熊本崇 2013年7月 東北大学オープンキャンパス 文学部案内
- ・川合安 2009年9月から現在に至る 東洋文庫研究員（客員）
- ・川合安 2010年7月 東北大学オープンキャンパス 文学部公開授業
- ・川合安 2010年9月 宮城県民大学講師
- ・大野晃嗣 2013年8月 第六期齋理蔵の講座「東北大学大学院文学研究科市民のための公開講座・文化理解（解釈）のキーワード」第三回講座「中国官僚制と科挙」 丸森町教育委員会・齋理屋敷「習の蔵」
- ・水盛涼一 2013年7月 2013年度「知の広場」第五講「困ってことば、知っていますか？——中国出版規制の歴史と現在」 河合塾仙台校
- ・水盛涼一 2013年8月 日中文化交流シンポジウム・吉野作造と近代中国「清朝末期における中国の日本人」 大崎市吉野作造記念館

VI 教員による学会役員等の引き受け状況（2009～2013年度）

- 熊本崇 東北中国学会理事 2005年～2010年
- 熊本崇 東北中国学会会長 2010年～2013年
- 熊本崇 東洋史研究会評議員 2002年から現在に至る
- 熊本崇 東北史学会評議員 2003年～2010年
- 熊本崇 東北史学会監事 2010年～2011年
- 熊本崇 東北史学会副会長 2011年～2013年
- 熊本崇 東北史学会会長 2013年から現在に至る
- 熊本崇 東方学会学術委員・編集委員 2013年から現在に至る
- 川合安 東北史学会理事 2003年10月から現在に至る
- 川合安 中国文史哲研究会常任編集顧問 2001年10月から現在に至る
- 川合安 唐代史研究会幹事 2003年8月～2011年8月
- 川合安 魏晋南北朝史研究会幹事 2004年9月～2006年9月
- 川合安 東洋史研究会評議員 2006年11月から現在に至る
- 川合安 東北中国学会理事 2013年5月から現在に至る

大野晃嗣 東洋史研究会評議員 2005年4月から現在に至る
大野晃嗣 中国文史哲研究会常任編集顧問 2004年10月から現在に至る
大野晃嗣 東北史学会評議員 2009年10月から現在に至る
大野晃嗣 東北中国学会幹事 2010年5月から現在に至る
大野晃嗣 史学研究会評議員 2012年4月から現在に至る
小尾孝夫 魏晋南北朝史研究会幹事 2008年9月から現在に至る

Ⅶ 教員の教育活動

(1) 学内授業担当 (2012年度)

1 大学院授業担当

熊本崇教授

- 1 学期 東洋近世史特論Ⅰ 宋元時代の諸問題Ⅰ
- 1 学期 東洋近世史研究演習Ⅰ 宋元政治制度研究Ⅰ
- 1 学期 課題研究
- 2 学期 東洋近世史特論Ⅱ 宋元時代の諸問題Ⅱ
- 2 学期 東洋近世史研究演習Ⅱ 宋元政治制度研究Ⅱ
- 2 学期 課題研究

川合安教授

- 1 学期 東洋古代中世史特論Ⅰ 南朝政治史の研究
- 1 学期 東洋古代中世史研究演習Ⅰ 六朝礼制の研究Ⅰ
- 1 学期 課題研究
- 2 学期 東洋古代中世史特論Ⅱ 隋代史の研究
- 2 学期 東洋古代中世史研究演習Ⅱ 六朝礼制の研究Ⅱ
- 2 学期 課題研究

大野晃嗣准教授

- 1 学期 東洋近世史特論Ⅰ 明清時代の諸問題Ⅰ
- 1 学期 東洋近世史研究演習Ⅰ 明清官僚制度研究Ⅰ
- 1 学期 課題研究
- 2 学期 東洋近世史特論Ⅱ 明清時代の諸問題Ⅱ
- 2 学期 東洋近世史研究演習Ⅱ 明清官僚制度研究Ⅱ
- 2 学期 課題研究

2 学部授業担当

熊本崇教授

- 3 セメスター 東洋史基礎講読 『資治通鑑』講読
- 4 セメスター 東洋史基礎講読 『資治通鑑』講読
- 5 セメスター 東洋史各論 宋元時代の諸問題 I
- 5 セメスター 東洋史演習 中国近世文献史料研究 I
- 6 セメスター 東洋史各論 宋元時代の諸問題 II
- 6 セメスター 東洋史演習 中国近世文献史料研究 II

川合安教授

- 3 セメスター 東洋史概論 中国史概説
- 4 セメスター 東洋史概論 中国の歴史書
- 5 セメスター 東洋史各論 南朝政治史の研究
- 5 セメスター 東洋史演習 『晋書』の研究 I
- 6 セメスター 東洋史各論 隋代史の研究
- 6 セメスター 東洋史演習 『晋書』の研究 II

大野晃嗣准教授

- 5 セメスター 東洋史各論 明清時代の諸問題 I
- 5 セメスター 東洋史演習 明清史料研究 I
- 6 セメスター 東洋史各論 明清時代の諸問題 II
- 6 セメスター 東洋史演習 明清史料研究 II

3 共通科目・全学科目授業担当

熊本崇教授

- 1 セメスター 歴史と人間社会 中世・近世の中国と日本 2009年
- 1 セメスター 歴史学 中国近世における皇帝権

川合安教授

- 1 セメスター 歴史学 魏晋南北朝史概説 2013年

大野晃嗣准教授

- 1 セメスター 歴史学 近世中国の社会と科挙 2011年
- 1 セメスター 「基礎ゼミ」 明清時代の漢文を読む 2012年

(2) 他大学への出講 (2009～2013年度)

熊本崇教授

1 学期	石卷専修大学経営学部・理工学部	2009 年
2 学期	石卷専修大学経営学部・理工学部	2009 年
1 学期	石卷専修大学経営学部・理工学部	2010 年
2 学期	石卷専修大学経営学部・理工学部	2010 年
1 学期	石卷専修大学経営学部・理工学部	2011 年
2 学期	石卷専修大学経営学部・理工学部	2011 年
1 学期	石卷専修大学経営学部・理工学部	2012 年
2 学期	石卷専修大学経営学部・理工学部	2012 年

小尾孝夫助手

1 学期	宮城学院女子大学学芸学部	2009 年
2 学期	宮城学院女子大学学芸学部	2009 年
1 学期	宮城学院女子大学学芸学部	2010 年
2 学期	宮城学院女子大学学芸学部	2010 年
1 学期	宮城学院女子大学学芸学部	2011 年
2 学期	宮城学院女子大学学芸学部	2012 年

水盛涼一助教

2 学期	宮城学院女子大学学芸学部	2013 年
------	--------------	--------